

授業科目 公的扶助論

【担当教員名】 松尾 律夫	対象学年	3	対象学科	作業・社会
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【＜概要＞又は＜一般目標：G I O＞】

国民の生活と健康を最終的に保障する公的扶助について、国の社会保障制度の中でその果たす役割を明らかにするとともに、中心をなす生活保護制度の理論と実態について理解を深め、併せて対象者の人権に即した権利性の確保と義務履行の在り方について考える。

【＜学習目標＞又は＜行動目標：SBO＞】

- ① 英国と日本を中心に公的扶助制度の歴史的推移を学び、貧困の社会的要因について理解を深め、併せて現在の生活保護制度に至るまでの形成過程を明らかにする。
- ② 生活保護制度の原理・原則と運用について理解する。
- ③ 生活保護の運営実施体制と国・地方公共団体における費用負担について学ぶ。
- ④ 近年における保護の動向について理解する。
- ⑤ その他の低所得者対策について学ぶ。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	現代社会と公的扶助 公的扶助の概念と範囲、歴史的展開、現代社会における意義と役割		
2	〃 について学ぶ		
3	生活保護制度の仕組み 生活保護制度の目的及び基本原理・原則を理解する 保護の種類		
4	〃 と内容及び方法について知る 被保護者の権利及び義務と権利と		
5	〃 しての不服申立て制度について理解する 保護施設の概要を知る		
6	〃		
7	保護基準と保障水準 生活保護基準の考え方と最低生活保障水準の実態を知る		
8	運営実施体制と財源 福祉事務所の運営実施体制と生活保護予算の財源について学ぶ		
9	生活保護の動向 被保護人員数及び世帯数の動向と保護の開始、廃止理由を知る		
10	〃 医療扶助、介護扶助の動向を知る		
11	低所得者対策の概要 生活保護以外の低所得者対策の概要について学ぶ		
12	〃		
13	相談援助活動 福祉事務所における生活保護の相談援助活動の実態について学ぶ		
14	〃		

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書 (必ず購入する書籍)	「公的扶助論」	福祉士養成講座編集委員会	中央法規	2004年 2500円
参考書	「生活保護手帳」 「社会福祉辞典」	厚生労働省保護課 社会福祉辞典編集委員会	全社協 大月書店	各年度版 2002年 4800円
その他の資料	必要に応じ配布する			

<p>【評価方法】</p> <p>レポート、試験、出席状況、授業態度等総合的に評価する。</p>	<p>【履修上の留意点】</p> <p>目的意識を持った真剣な受講態度を望みたい。</p>
--	---